FUJIKURA NEWS
NO.514 2026
11

モロッコにおける光ファイバケーブル製造拠点が本格稼働

当社は、モロッコ王国タンジール地区に所在するグループ会社「Fujikura Automotive Morocco Tangier(以下FAMT)」において、光ファイバケーブルの量産体制を構築し、2026年8月から本格稼働を開始しました。

FAMTはこれまで、自動車向け製品の生産拠点として事業を展開してきました。今回、既存の敷地を活用し、当社独自の光ファイバリボン「SWR®(Spider Web Ribbon®)」を実装した細径高密度型光ファイバケーブル「WTC®(Wrapping Tube Cable®)」の生産を新たに開始しました。

近年、生成AIの普及やクラウドサービスの拡大に伴い、データセンタや通信ネットワーク向けの光ファイバケーブル需要が拡大しています。こうした需要に対応するためには、高品質な光ファイバケーブルを安定的かつ迅速に供給できる生産体制の構築が求められています。

当社は、FAMTを欧州、中東、アフリカ市場への安定供給を担う拠点と位置付けています。モロッコでWTC®を生産することにより、各地域への供給リードタイムの短縮と供給体制の強化を図ります。

当社は今後も、グローバルな生産・供給体制を強化するとともに、モロッコにおける雇用創出と地域産業の発展に寄与し、“つなぐ”テクノロジー™を通じて高度デジタル社会の発展に貢献していきます。

＊SWR®(Spider Web Ribbon®)、WTC®(Wrapping Tube Cable®)は、当社の登録商標です。



FAMTのWTC®製造工場

■SDGs17 目標に該当するポイント

モロッコにおける光ファイバケーブルの生産開始を通じて、グローバルな供給体制の強化と地域産業の発展に貢献し、高度デジタル社会を支える通信インフラの整備に寄与します。

✉ 光ケーブル事業部：fjk.swrwtc.contact@jp.fujikura.com

高堅牢・小型・高電流対応の基板対基板コネクタ「FPB18E」シリーズ

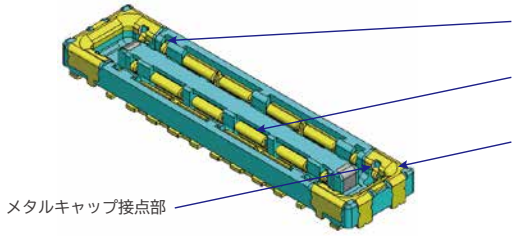
スマートフォンやウェアラブル端末をはじめとするスマートデバイスでは、小型化と高機能化が急速に進んでいます。これに伴い、機器内部に搭載される基板対基板(Board-to-Board)コネクタには、限られた実装スペースに対応する小型化に加え、嵌合作業時や使用時に加わる負荷に耐える高い堅牢性が求められています。バッテリーの大容量化や急速充電の普及を背景に、より大きな電流への対応も重要になっています。

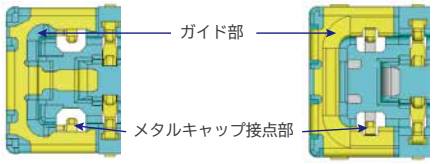
当社は、こうした市場ニーズに応えるため、高堅牢構造を特長とする、バッテリー接続用の小型基板対基板コネクタ「FPB18E」シリーズを開発しました。本シリーズは、嵌合時に金属部品同士がガイドとして機能する構造を採用しています。ガイド部の周囲を金属で覆うことにより、小型でありながら、従来形状と比べて強度を30%向上させました。

また、メタルキャップの構造を改良し、接点部の周囲を金属で保護しています。これにより、嵌合時の位置ずれやこじりによるガイド部の損傷、接点部の変形リスクを低減し、製品使用時の信頼性向上に貢献します。さらに、電源コンタクトの定格電流を高めることで、バッテリーの大容量化や急速充電に伴う高電流化のニーズにも対応します。

「FPB18E」シリーズは、高密度実装が進むスマートデバイス向けに、高堅牢性、小型化、高電流対応を兼ね備えた接続ソリューションを提供します。

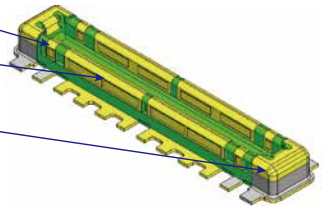
■ レセプタクルコネクタ

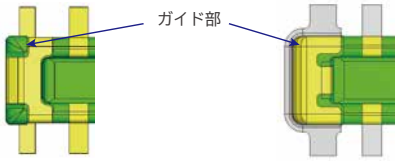




レセプタクルコネクタ従来品形状　レセプタクルコネクタ FPB18E 形状

■ プラグコネクタ





プラグコネクタ従来品形状　プラグコネクタ FPB18E 形状

■ 仕様

	従来品	新製品
シリーズ	FPB10E	FPB18E
嵌合高さ	0.8 mm	
幅	1.80 mm	1.75 mm
定格電圧	AC 30 V (r.m.s.)／DC 30 V	
定格電流	信号コンタクト：0.5 A/pin 電源コンタクト：9.0 A/ コネクタ メタルキャップ：3.0 A/pin	信号コンタクト：0.5 A/pin 電源コンタクト：14.0 A/ コネクタ メタルキャップ：2.5 A/pin
耐電圧	AC 200 V(r.m.s.)/1 分間	
絶縁抵抗	DC 200V 100MΩ以上	
接触抵抗	信号コンタクト：30 mΩ以下 電源コンタクト：0.9 mΩ以下 メタルキャップ：25 mΩ以下	
使用温度範囲	-40 ℃～ +85 ℃	
芯数	信号コンタクト：4 芯 電源コンタクト：2 芯 メタルキャップ：2 芯	信号コンタクト：4 芯 電源コンタクト：4 芯 メタルキャップ：2 芯

■SDGs17 目標に該当するポイント

当社の技術力を生かした小型Board to Boardコネクタの開発により、スマートデバイスの設計自由度を向上させることでスマートデバイスの発展に貢献します。

電子コネクタ事業部：fjk.den.co-gijutsu-1@jp.fujikura.com

鉄道トンネル等の電波不感地帯向け
4G LTE用漏えい同軸ケーブルおよび関連製品の納品開始

フジクラ・ダイヤケーブルでは、鉄道トンネル内などの通信環境を改善するため、5G対応LCXに加え、4G LTE対応漏えい同軸ケーブル(LCX)、専用コネクタおよび終端抵抗器を開発し、納入を開始しています。

スマートデバイスは「いつでも、どこでもつながる」時代へと進化しており、近年では空が見える場所であれば衛星通信を利用して通信できるサービスも普及し始めています。一方で、鉄道トンネル内などの電波不感地帯における通信環境の改善は、依然として重要な課題となっています。

こうした背景から、鉄道トンネル内などに4G LTEや5G対応のLCXを布設する需要が高まっています。

LCX専用コネクタおよび終端抵抗器には、PIM(Passive Inter-Modulation Distortion：受動相互変調歪)を低減する設計を採用しており、高品質で安定した無線通信環境を実現します。

また、終端抵抗器は、接続する無線機の送信出力およびケーブル長に応じて選定できるよう、2W、5W、10Wの3種類をラインナップしています。

フジクラ・ダイヤケーブルは、今後も通信エリアの拡大および通信品質の向上に寄与する製品を提供し、通信インフラの高度化とデジタル社会の実現に貢献していきます。

本製品の構成

- 4G LTE 対応 LCX ：EM-LCX43D-4GH6F-L
- 専用コネクタ ：L-LCX43D-4.3/10J-P
- 終端抵抗器 ：DL(P)-4.3/10P-「」W 「」：2、5、10



漏えい同軸ケーブル



専用コネクタ



終端抵抗器

■SDGs17 目標に該当するポイント

信頼性の高いモバイル通信エリアの構築に資する製品を提供することにより、通信インフラの高度化とデジタル社会の実現に貢献していきます。

(株)フジクラ・ダイヤケーブル：https://www.fujikura-dia.co.jp/contact/

テイ・エス テック株式会社より品質賞受賞

当社は、テイ・エス テック株式会社への納入において「搬入不具合ゼロ」の継続を支える品質管理の取り組みが高く評価され、2026年度の第81期品質賞を受賞しました。

テイ・エス テック株式会社は、自動車用シートや内装品をグローバルに展開する大手メーカで、当社は同社に対し、乗員の着座を検知し、シートベルトの装着忘れ防止に貢献する着座センサを供給しています。

当社では、着座センサの電極回路の印刷から、ハーネスとの端子圧着、最終検査、梱包、出荷までの全工程を一貫して管理しています。さらに、計測器から測定データを自動で取得し、合否判定や検査成績書の作成までを電子化することで、人的ミスの防止、検査精度の向上、作業の効率化を実現しています。

このほか、国内外の従業員に対する教育や検査員の育成、生産工程の自動化、設備管理の強化、各国の法規制への対応など、品質保証体制の継続的な強化に取り組んでいます。

今後も工程内検査のさらなる電子化を推進するとともに、品質保証体制の高度化を図り、高品質な製品の安定供給を通じて、お客様満足度の向上に貢献していきます。



品質賞受賞
テイエステック株式会社代表取締役社長　鳥羽英二様（左）と当社執行役員　高木正純（右）

■SDGs17 目標に該当するポイント

品質保証体制の強化と一貫した品質管理を通じて、持続可能なものづくりと責任ある生産に貢献します。

✉ 産機・車載部品事業部：ask-mbsw@jp.fujikura.com

Fujikura 株式会社フジクラ　Fujikura Ltd.

“つなぐ”テクノロジー™ 製品ニュース No.514／発行：2026年11月
編集兼発行責任者：松尾　昌一郎
〒135-8512　東京都江東区木場1-5-1　https://www.fujikura.co.jp
■ 本号に関するお問合せ　広報グループ　wwwadmin@jp.fujikura.com

UD FONT 見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。
FSC ミックス 紙｜責任ある森林管理を支えています FSC® C153143
VEGETABLE OIL INK